

2019年全国家計構造調査「家計収支に関する結果」 滋賀県の概況

*本資料中に用いている用語については、別添参考資料2に解説を付しています。



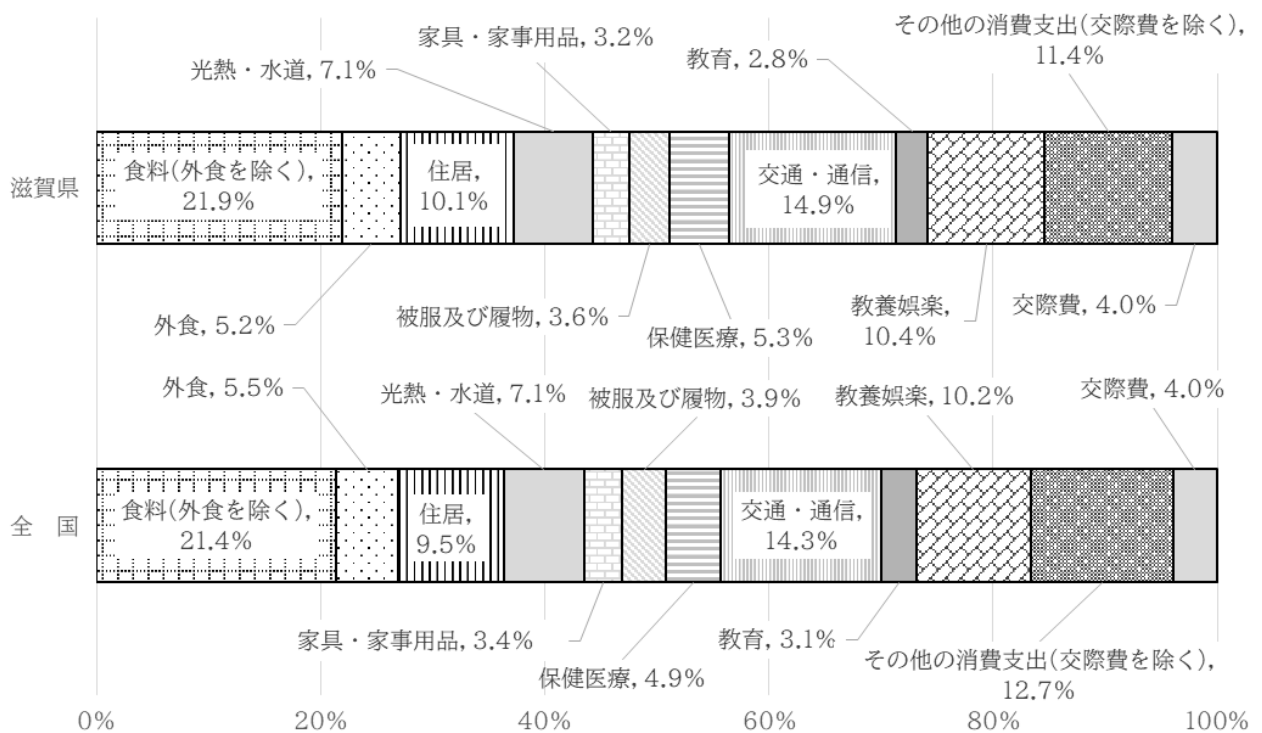
1 消費支出の概況

総世帯の1世帯当たり、2019年10月・11月の1か月平均消費支出(以下「消費支出」という。)は、240,856円であった(全国平均は237,091円)。全国と比較して約3,800円多くなっている。

滋賀県の費目別購入割合をみると、「食料(外食を除く)」(21.9%)、「交通・通信」(14.9%)、「その他の消費支出(交際費を除く)」(11.4%)が高い。

また、全国と比較すると、大きな差はないものの、「食料(外食を除く)」、「住居」、「保健医療」、「交通・通信」、「教養娯楽」の割合が全国より高くなっている。

図1 費目別消費支出の割合(総世帯)

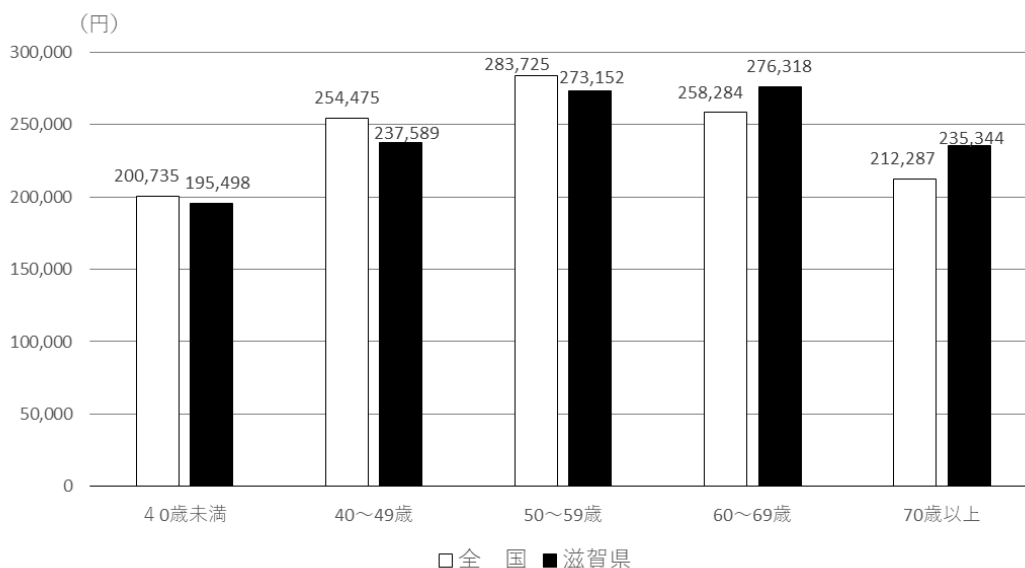


2 世帯主の年齢階級別にみた消費支出

総世帯の消費支出を世帯主の年齢階級別にみると、40歳未満が195,498円（全国は200,735円）、40歳代が237,589円（全国は254,475円）、50歳代が273,152円（全国は283,725円）、と年齢階級が高くなるにしたがって多くなり、60歳代の276,318円（全国は258,284円）をピークに、70歳以上が235,344円（全国は212,287円）となっている。

滋賀県では60歳代が最も多いが、全国は50歳代が最も多くなっている。

図2 世帯主の年齢階級別消費支出(滋賀県・全国 総世帯)



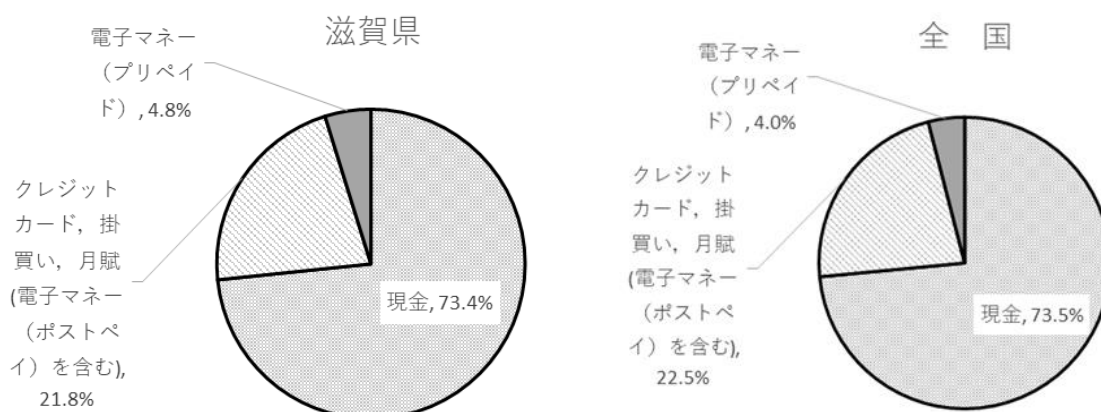
*40歳未満の数値は、e-Stat掲載の統計表から、本県において算出

3 購入形態別にみた消費支出

総世帯の消費支出を購入形態別にみると、現金のほか口座間振込による支払い等を含めた支出(以下、単に「現金」という。)は、176,694円で、消費支出全体(240,856円)の73.4%を占めている。「クレジットカード、掛買い、月賦(電子マネー(ポストペイ)を含む)は、52,567円で21.8%、「電子マネー(プリペイド)」は、11,594円で4.8%となっており、全国平均とほぼ同様の傾向である。

なお、都道府県別で「クレジットカード、掛買い、月賦、電子マネー」での支払いが最も高いのは、千葉県の31.2%であり、鹿児島県が14.9%と最も低い。

図3 購入形態別支出の割合(総世帯)



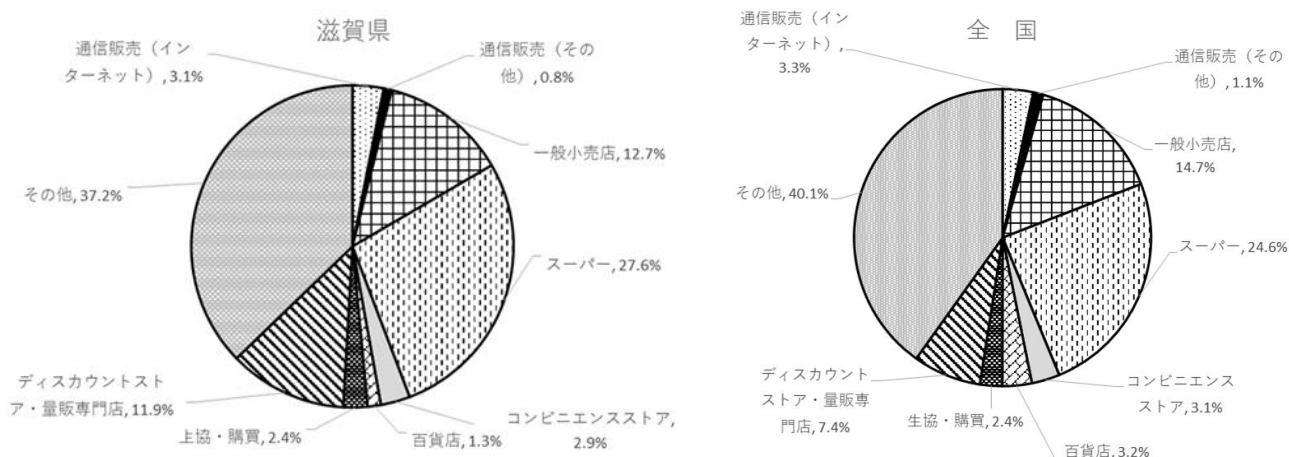
4 購入先別にみた消費支出

総世帯の消費支出を購入先別にみると、「その他」を除いて最も多い支出金額は、「スーパー」で 27.6% を占めている。(全国は 24.6%)

次いで、「一般小売店」12.7%、(全国は 14.7%)、「ディスカウントストア・量販専門店」11.9% (全国は 7.4%)となっている。

なお、都道府県別「通信販売(インターネット)」での購入割合は、東京都が 6.0%と最も高い。

図4 購入先別消費支出の割合(総世帯)

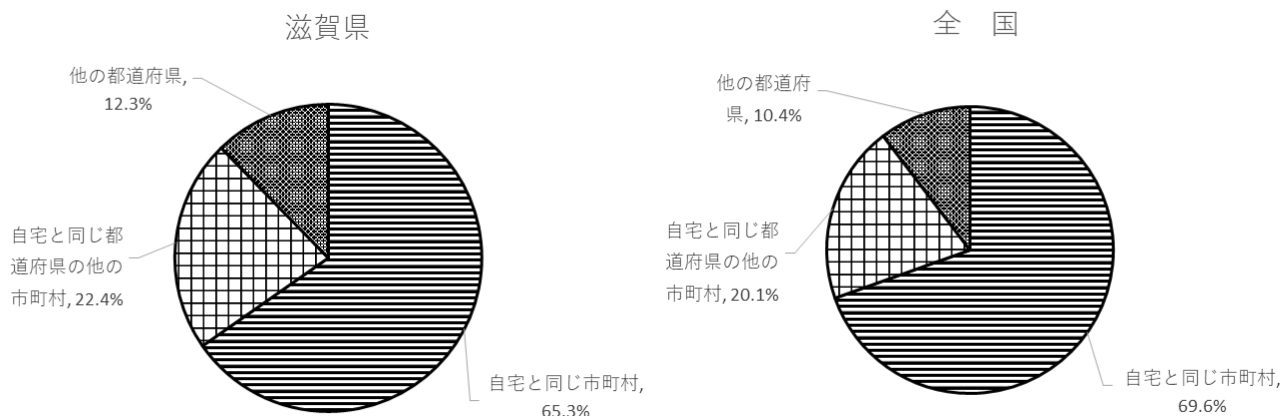


5 購入地域別にみた消費支出

総世帯の消費支出を購入地域別にみると、「自宅と同じ市町村」が 65.3%と最も多くなっている。

「他の都道府県」で購入する割合は、12.3%と全国(10.4%)より高くなっている。なお、都道府県別で全国第1位は奈良県の 19.1%であり、北海道が 2.5%と最も低い。

図5 購入地域別消費支出の割合(総世帯)



*「通信販売(インターネット)」や「通信販売(その他)」による支出は、購入地域を調査していないため、「消費支出」から除いている。